

波 紋

1995 1月 第115号

平成7年新年を迎えて

かえる 蛙年第二年目

明けましておめでとうございます。

94年は、蛙・カエル・変える・買える・還る・カエルコールの一年間でした。常務の顔が「かえる」に似てきたというウワサも耳にします。

年賀状には、各人が「明確な意志」を持ち確実に目標達成を遂げる、と書いてあります。モーリンは、日本一の事務用品の文具屋になり、モーリンマークの商品が日本中で使用される事が夢です。現在、人件費の安い海外から商品がどんどん輸入されているこの頃ですが、今年からは更に増え続ける事でしょう。一個人として安価で物を買える事は喜ばしい事ですが、自分の会社で作っている商品と同じ物が半値で売られている現状を見ると寒けがし鳥肌が立ちます。月給一万人の人が作った商品と同じ物を月給二十万人の人が作ったのでは、どうなります？ 安い方が売れるのは、当たり前ですね。海外からの安い商品と違った商品を生産し、販売しないとモーリンの生きる道は無いと思います。モーリンでしか作っていない商品やモーリンでしか売っていない商品を扱っていききたい。そして、輸入品には無い新商品を考え、現在、どこも作っていないものでこれから皆さんが欲しくなる、必要とする商品を生産し、出荷していきたい。

国内で有数の仕入先があり、又、我社しかない強味も沢山私達は持っていますし、勉強もしてきました。これから我社独自のノウハウを大いに生かし發揮して、新しい時代に挑戦しましょう！



大転換期を勝ち残る為に、次の三項目をいつも基本に考えて実行しましょう。

- 一、他社にない商品を生産する。
- 二、他社がやらない販売方法で売る。
- 三、他社と違う組織を構築する。

森 信之

本年もよろしく!!



「心が変われば

人生が変わる」

心 が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば性格が変わる

性格が変われば運命が変わる

運命が変われば人生が変わる

新年を迎えて

「理想的な嫌われる上司になろう」



木村 英利

新年明けましておめでとうございます。私の今年の自分自身のテーマは、「理想的な嫌われる上司になろう」です。

ただ単に嫌われるのは実に簡単です。だって今、嫌われているから努力する必要があります。訳です。私が自分に求めているのは「理想的」に嫌われる事です。「理想的な」という言葉が付きますと、大変美しく嫌われなくてはなりません。具体的に言いますと「一方的」になります。勿論、意見があれば反論もあれば、聞いたふりして一方的になります。

95年は、益々厳しい年になります。私が出した戦略・戦術より良い提案が出たなら、それは涙を流して喜びます。そうでなければ、一度決定した戦略については、「やるか、やらないか」です。「やらなければやれる人にチェンジするし、やるならサッサとやれ。」……何という美しい一方的な言葉でしょうか。「気付き」がない人には、一方的な方法で「気付いて」もらいます。

1995年は、『意の志士の年』です。同じ志を持つ、つまり同志だけで、一方的に収益を上げます。美しく輝かしく嫌われる年です。どうぞ社員の皆様、ご理解をして……頂かなくて結構です。

11/19 マンモスフリーマーケット

金城埠頭にて行われた「マンモスフリーマーケット」に、我ら新規開拓部隊が参加してきました。



目的は、社内のデット

ストック品（大半は私の商品）を処分し、お金に替える事です。初めての経験で少々戸惑いもありましたが、いつもの「元氣印」で「いらつしやい、いらつしやい」「もってけ！ドロボー」等々の声が連発。そんな感じで何とか無事に終わる事ができました。

売り上げは3万円強。でも、シヨバ代、経費等、諸々差し引くと……うん。しかし、私達にとつては色々な面において大変、良い経験をしたと思います。皆様、御協力ありがとうございました。

安井 浩二

12/10 モーリンググループ家族忘年会

12月10日、5Fにて家族忘年会が開かれました。

ビーフシチューやそばなどの数々の料理と、クイズなどのゲームで皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。出席された方々ありがとうございました。そして司会の松井さん、幹事の高橋主任をはじめ、準備に携われた皆さん、本当にお疲れ様でした。

谷口 香



改善発表会

11月26日(土)

第一位 キャロット

「継続」

「改善で決めた事が継続して実行できていない。」

これは、アシスタントの女性から出された意見です。そこで今回は、いかに継続的に改善事項を実行していくか、を中心に考える事にし、テーマも「継続」にしました。改善発表会の為の改善ではなく、自分達の職場をいかに良くするか、を求めて、チーム全員が協力し合えた結果の成績だと思えます。そして、今回つくづく感じた事が二点あります。

- 一、若い人の意見が素直に取り入れられた改善ほど、良い結果が出る。
- 二、継続が出来ない原因の大半は、上に立つ人間にある。



発表者 牧野 光昌

牧野 光昌

第二位 シクラメン

「品質徹底管理でクレームゼロ」

この改善発表会で二位に入れたのには、とても信じられません。テーマを「品質徹底管理でクレームゼロ」として、シクラメンチーム全員が一体となって改善に努め、前回優勝という実績を落とさなかったという気持ちが強かった為、二位になったと思えます。又、この改善を行っていく上で、営業さん初め、いろいろな方に大変協力して頂き有難うございました。

次回の改善発表会においては、優勝出来るようシクラメンチーム一体となって頑張っていきたいと思えます。

鳥羽 幸治



発表者 田井村 俊秋

第三位 ひまわり

「配送の効率アップ」

我々の仕事は、実績として数字に出す事が難しく、当初は他部門に対するアイデアの実施効果などを改善発表会のテーマとして考えていました。しかし、自らの仕事に問題が無い訳ではないという原点に立ち返り、テーマ変更したのは発表会の2週間前。内容をまとめたのは発表者である横山次長自身です。何を話すかは発表会前日まで残業の為、一切練習もしておらず、チームの者の心配にも、「ええねん、ええねん」という調子。しかし、横山次長の事です。自宅に遅く帰って、車中、倉庫など、我々の見えない所で練習したんでしようね。本番の発表は素晴らしく、迫力を感じました。

行動が認められ改善発表会に入賞し、チーム一同本当に嬉しく思うと共に、これからも改善活動に一層努力します。

成瀬 勝英



発表者 横山 敏秋

平成7年 1月の社内行事

12月29日

正月休み

1月5日

吉岡課長誕生日

3日(火)

仕事始め

6日(金)

中文組合 18時

7日(土)

「森松信念会」11時30分

9日(月)

中央会

10日(火)

若手サークル会 18時

13日(金)

アキレス新年会

14日(土)

森社長誕生日

15日(日)

新規開拓部隊会議 12時

16日(月)

MKV新年会

17日(火)

第二土曜日休み

18日(水)

成人の日

18日(水)

改善委員会 18時

20日(金)

PVC卸商組合 17時

21日(土)

近藤俊江さん誕生日

22日(日)

新規開拓部隊会議 18時

23日(月)

第三土曜日休み

24日(火)

谷口香さん誕生日

25日(水)

生産会議 17時40分

26日(木)

編集会議 17時50分

27日(金)

加藤先生来社 18時

30日(月)

誕生会 12時

31日(火)

経営会議 15時10分
営業会議 18時
青友会
大木主任誕生日
高周波組合 17時



退社挨拶

森崎 公江
(旧姓 加藤)

三年足らずでしたが、12月20日付をもちまして退社することになりました。皆様にはいろいろ御無理、御迷惑をお掛けしました。私にとって森松は、高校の続きの様な感じでした。仕事、掃除一つにしろ習うことばかり。仕事以外の面でも相談にのって下さる方ばかりの会社で、これで給料をもらつていいのか？私はこの会社に対してそれだけの仕事をしたのか？と、逆にこちらが授業料を払つてもおかしくなってしまう程、居心地の良い会社でした。森松に入つて嬉しかったのが、やはり皆に自慢できる海外旅行。一番つらかったのが、最近行われた「福カエル展」。最後の最後まで私はお客様がつかめず、学生の頃通つた自動車学校に何度も行き、先生に頼み込み友人を紹介してもらつたこと。その時初めて、営業のつらさを知りました。

私の人生はここ一年で急ピッチに進んでまい、最早折り返し地点に来た気分ですが、新たな希望を持ち、いつか実現できることを夢見ます。

短い間でしたが、大変お世話になりました。森松が全国で有名になつても、昔、変わり者の事務員、森崎が勤めていたということの頭の片隅にでも残しておいて下さい。

〔編〕大変お疲れ様でした。これからも「明・元素」を忘れずに、幸せな家庭を築いて下さい。

次回(3月) 各サークル改善テーマ

さくらんぼ(産業)

「早くなったぞ！安くなったぞ！」

ポビー(要工場製造部)

「確認(現金勘定)」

ひまわり(商品管理部)

「リフトにやさしく」

シクラメン(丹後工場製造部)

「品質徹底管理 PART3」

レモン(経理・総務部)

「●受注台帳の見直し
●コンピュータトラブルのマニュアル作り
●未集金表作りと連絡の仕方」

とうもろこし(営業一部)

「事務効率化アップ PART3」

ポテト(営業二部)

「二部の再出発 その5」

キャロット(営業三部)

「九蓮宝燈」

編集後記

明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

94の森松は「カエル年」でした。振り返ってみると、一番大きな変化は、物を売ったことのない人達が、クラフトテープやスーツを売り、その難しさや大変さ、売れた時の喜びを知ることができた事だと思ひます。

私自身、何かを変える事に臆病になりがちなのですが、95が充実した年になるように、何事にも目標を持ち、それを成し遂げようという気持ちを忘れないようにしたいと思ひます。又、一日一日を楽しみます。笑顔で過ごせるように、おおらかな気持ちでいるよう心掛けたいです。

竹田 沙織

編集発行者

森松株式会社

発行責任者

高橋 武夫

平成7年1月1日

第115号